

Periodontics for Special needs Patients

ペリオドンティクス フォー スペシャルニーズ ペイシエント

障害者・有病者の歯周治療

〔監・著〕和泉雄一(東京医科歯科大学)・長田 豊(長崎県口腔保健センター)

障害者・有病者の歯周治療を実践する

歯科治療に特別な配慮が必要な方(スペシャルニーズペイシエント)は、健常者に比べて口腔清掃が困難であることが多くあります。また、薬物によるドライマウスや歯肉の増殖、遺伝性疾患、糖尿病、染色体異常などによる免疫機能や抵抗力の低下など生体側の問題により歯周病が重症化することもあります。本書は、スペシャルニーズペイシエントの歯周病の特徴と歯周治療法および術後の定期管理などについて臨床の参考になるよう多くの症例を取り入れました。障害者・有病者の歯周治療に取り組んでいる・取り組みたい歯科医師や歯科衛生士の方々の実践の書です。

A4判・172頁・オールカラー 本体9,000円+税

詳しい情報は
こちら



目次より

第1章 歯周病のリスクファクターと全身疾患との関係

- 1) 歯周病のリスクファクターと障害や全身疾患との関係
- 2) 歯周病のリスクファクター:
糖尿病、白血病、骨粗しょう症、AIDS、後天性好中球減少症、薬物
- 3) 歯周病と遺伝性疾患
- 4) 動脈硬化疾患・慢性関節リウマチ・誤嚥性肺炎・がん

第2章 障害別歯周病の特徴と対応法

- 1) 知的能力障害 2) 発達障害(神経発達症) 3) てんかん
- 4) 脳性麻痺 5) 筋ジストロフィー 6) 脳血管障害

第3章 障害者・有病者におけるリスク検査と診断

- 1) 口腔・全身からみた歯周病のリスク検査
- 2) 歯周病の診断における障害者・有病者の位置づけ

第4章 障害者・有病者の歯周治療

- 1) 障害者・有病者の歯周治療と留意点
- 2) 行動調整法
- 3) 障害者・有病者の歯周病に対する抗菌療法
- 4) 障害者・有病者でも応用可能な新しい歯周治療法
- 5) 歯周治療後の定期管理

第5章 障害者・有病者に対する歯周治療(症例)

- 1) 遺伝性疾患① パピヨン・ルフェーブル症候群
- 2) 遺伝性疾患② エーラス・ダンロス症候群
- 3) 障害別① 知的能力障害—ヌーナン症候群—
- 4) 障害別② 知的能力障害—ウィリアムズ症候群—
- 5) 障害別③ 自閉スペクトラム症—侵襲性歯周炎に非外科的治療を行った症例—
- 6) 障害別④ 脳性麻痺—定期管理症例—
- 7) 障害別⑤ てんかん—歯肉増殖症に重度慢性歯周炎を併発した治療—
- 8) 障害別⑥ 関節リウマチ—中等度慢性歯周炎患者に歯周外科治療を行った症例—
- 9) 障害別⑦ 統合失調症—中等度慢性歯周炎患者に非外科的治療を行った症例—
- 10) 全身疾患① パージャール病/ビュルガー病
—糖尿病を伴う重度歯周炎患者に非外科的治療を行った症例—

他

第6章 歯科衛生士の役割

- 1) 障害者の歯周治療における歯科衛生士の役割
- 2) 歯周治療後の定期管理の実際
- 3) 歯周定期管理① 自閉スペクトラム症
- 4) 歯周定期管理② 薬物性歯肉増殖症を有する自閉スペクトラム症患者の症例
- 5) 歯周定期管理③ 急性骨髄性白血病
- 6) 歯周定期管理(周術期口腔機能管理)④ 慢性骨髄性白血病